

地震

平成28年熊本地震

九州初の震度7

4月14日と16日、九州地方では初となる最大震度7の直下型地震が、短期間で2回観測されました。現在も活発な地震活動が続いており、震度1以上の地震は、6月10日9時の時点で累計1701回を記録しています。

気象庁は4月14日21時26分に発生した地震を「平成28年熊本地震」と命名。21日以降は、14日以降に発生した熊本県を中心とする一連の地震活動を指す言葉としています。

2度の地震は、前震が日奈久断層帯、本震が布田川断層帯の活動（いずれも右横ずれ断層型）によるものと考えられています。

内閣府は平成28年熊本地震を4月26日に激甚災害^{*1}、5月2日には特定非常災害^{*2}に指定。また、5月13日には「大規模災害からの復興に関する法律」に基づく非常災害に指定しました。

^{*1}…「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」（昭和37年法律第150号）
^{*2}…「特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律」（平成8年法律第85号）

御船町では

震度6弱を観測

本町では4月14日の前震で震度5強を観測。役場2階に災害対策本部を設置し、被害状況の確認や救済物資の受け入れ、避難所の設置、水や食料の配給などを行いました。

15日も震度5強を観測するなど余震が収まらないなか、16日の本震で震度6弱を観測。2度にわたる大きな揺れと度重なる強い余震で、家屋の倒壊やがけ崩れが発生。死者や重軽傷者の人的被害が出たほか、ガス漏れや水道管の破裂、停電などが起こり、町内全域でライフラインが絶たれる事態となりました。

余震への恐怖やライフライン復旧の遅れにより、ピーク時で約6千300人を超える人が町内の避難所や車中に避難していたと考えられます。

また、地震発生直後から町消防団が出動。団長ら幹部の指示のもと、倒壊した家屋からの人命救助を行ったほか、5月5日までにのべ2千人を超える団員が、危険箇所の封鎖や混乱する住民の避難の手助け、広報巡回などを行いました。



1_派遣された自衛隊と被害の状況を確認している様子 2_地震後、一時物資の配給場所となった御船小学校体育館 3_指定避難所のスポーツセンター 4_民家の崩れている敷地にブルーシートをかける消防団員たち 5_御船中学校グラウンドを埋め尽くす避難車両 6_連日行われている災害対策会議 7_地震で動かなくなった上野保育園の時計



▲御船町役場に設置してある計測震度計

平成28年熊本地震の被害（6月10日時点）

人的被害	死者	2人（震災関連死疑い1人を含む）
	重傷者	4人
	軽傷者	10人以上
住家被害	全壊	624件
	半壊	1,175件
	一部破損	3,316件

罹災証明申請件数 （6月10日時点） ・5,140 件



平成28年熊本地震の主な発生日時

地震発生時刻	場所および深さ	マグニチュード	地震の強さ 上段：最大震度 下段：御船町
4月14日 21時26分（前震）	熊本県熊本地方 深さ11km (緯度32°44.5'N・経度130°48.5'E)	M6.5	震度7（益城町） 震度5強（御船町）
4月15日 0時3分	熊本県熊本地方 深さ7km (緯度32°42.0'N・経度130°46.6'E)	M6.4	震度6強（宇城市） 震度5強（御船町）
4月16日 1時25分（本震）	熊本県熊本地方 深さ12km (緯度32°45.2'N・経度130°45.7'E)	M7.3	震度7（益城町、西原村） 震度6弱（御船町）